

令和5年3月定例会

予算委員会産業建設分科会 会議録

3月16日(木)

防 府 市 議 会

○日 時 令和5年3月16日(木) 午前10時47分

○場 所 議会棟3階・全員協議会室

○付議事件

(1) 議案第31号 令和5年度一般会計予算(所管事項)

○出席委員(8名)

産業建設委員長	安 村	政 治
産業建設副委員長	吉 村	祐太郎
産業建設委員	牛 見	航
〃	宇多村	史 朗
〃	村 木	正 弘
〃	森 重	豊
〃	山 田	耕 治
〃	和 田	敏 明

○欠席委員(なし)

○委員外議員(6名)

青 木	明 夫
石 田	卓 成
河 村	孝
久 保	潤 爾
清 水	力 志
田 中	敏 靖

○説明のため出席した者

産業振興部長	白 井	智 浩
産業振興部次長	國 澤	明
産業振興部参事	池 田	晶 則(農林漁港整備課長)
産業振興部参事	岡 田	元 子(農林水産振興課長)
商工振興課長	本 間	良 寛
商工振興課主幹	仲 嶋	徹

土木都市建設部長	石 光	徹
土木都市建設部次長	宮 本	松 典
土木都市建設部参事	藤 本	英 明
道路課長	澁 谷	勝 彦
道路課主幹	大 濱	歩
都市計画課長	野 間	敬
建築課長	北 村	康 芳
開発建築指導課長	鴻 野	嘉 和
開発建築指導課主幹	江 島	真 治
農業委員会事務局長	國 本	勝 也
上下水道事業管理者	河 内	政 昭
上下水道局次長	野 村	利 明
総務課長	岡 本	修 一
財務課長	伊 藤	浩 二
財務課主幹	徳 本	修
水道課長	原 田	康 晴
下水道課長	松 崎	豊

○出席書記

西 山 智 法

午前 10 時 47 分 開会

○安村主査 引き続き、予算委員会産業建設分科会の審査を行います。

私が本分科会の主査を務めることとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

議案第 31 号令和 5 年度防府市一般会計予算（所管事項）

○安村主査 本分科会の審査対象は、議案第 31 号令和 5 年度防府市一般会計予算中、産業建設委員会所管事項です。

執行部の補足説明については、先日の予算委員会全体会において終えておりますので省略させていただきます。

それでは、まず議案第 31 号のうち、上下水道局所管分について質疑を求めます。あり

ませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○安村主査 ないようですので、上下水道局の皆さんは、御退席いただいて結構です。お疲れさまでした。

ここで、執行部入替えのため、暫時休憩いたします。

午前 10 時 45 分 休憩

午前 10 時 47 分 開議

○安村主査 休憩を閉じて会議を再開いたします。

引き続き、議案第 31 号中、産業振興部、土木都市建設部及び農業委員会事務局の所管分について質疑を求めます。

○村木委員 参考資料の 206 ページの下の段の働き方改革促進事業というのがあります。これは、具体的にはどんな研修が対象になるのか教えてください。

○本間商工振興課長 お答えします。

こちらは、去年、技術力向上とか、一人親方の方とか、そういったところを対象にしていた研修等を拡大したものでございまして、昨年度から対象にしておりました一人親方とかそういった個人事業者の技術力向上とかと併せて、中小企業のリスキリング、IT 関係の技術を学び直したりとか、そういった企業の研修とかも対象にして、ちょっと広く中小企業の方もスキルアップを対象とした事業として計上しております。

○村木委員 ありがとうございます。

それと、参考資料の 208 ページ、人財活躍サポート事業というのがあるのですけれども、これは同じ感じになるのですか、さっきの 206 ページやつは。

○本間商工振興課長 こちらにつきましては、デジタル技術の習得ということで、特に一旦出産等で家に入られている女性とかが働きたいというところを、セミナーというか、長いスパンの研修をこちらのほうで委託して実施してというところで、先ほどのやつは企業が独自で参加される研修に対する助成で、こちらは市のほうで業者に委託して、割と長いスパンでの充実した研修を行っていただくというような意味合いのものでございます。

○村木委員 ありがとうございます。

すみません、あと 4 つほどお伺いします。

参考資料の 261 ページです。

下の段の創業・交流センター運営事業というやつですけども、大分周知もされてきているようなんですが、他市から営業に来られたり、仕事で来られたりする方への宣伝という

か、そういうのはされているのでしょうか。

○本間商工振興課長 今、他市に営業所がある会社等に割引券をお配りしたり、ホテルのほうにそういった割引券とか、PR活動を行っております。

○村木委員 ありがとうございます。では、しっかりよろしく願いいたします。

それとあと、317ページですか、右側の公園の整備のことですけれども、インクルーシブ遊具についての場所を教えてくださいというのですけれども。

○野間都市計画課長 お答えします。

インクルーシブ遊具につきましては、児童遊園、それから都市公園の順で場所の候補地を示していきたいと考えておりまして、児童遊園につきましては8か所、街区公園につきましては6か所を候補地として出したいと思っています。児童遊園につきましては8か所ですが、牟礼児童遊園、防府市の記念モデル児童遊園、前小路児童遊園、向島児童遊園、日の出広場児童遊園、誠和児童遊園、玉祖児童遊園、大道児童遊園、それから都市公園につきましては、脇公園、岩島公園、晒石公園、西須賀公園、新前町公園、華城公園の6か所です。児童遊園、都市公園がない所につきましてははまだ協議が整っておりませんが、野島につきましては船着場を降りましてすぐ、西側の広場がございますがこちら、あるいは西浦につきましては西浦小学校の隣にあります木船開発広場、小野につきましては真尾公会堂を今候補地として考えております。

以上でございます。

○村木委員 ありがとうございます。その公園の整備事業の中で、トイレの新設工事とか、向島のほうはあるんですけれども、これは予算の概要の中の12ページに避難所トイレというのが載っているんですけれども、3か所載っていますけれども、これは津波とか高潮とかの被害では今から右田にできる防災公園のほうに避難する、21世紀災害のような土砂災害とか北のほうで起こる災害では南のほうへ避難する、そういう形の防災の避難所となるという認識でよろしいのでしょうか。

○野間都市計画課長 お答えします。

向島運動公園に設置いたしますトイレにつきましては、公園施設の利用者が使用するトイレということで、災害時にも活用できるトイレということでの位置づけでございます。その中で、向島運動公園につきましては、避難所としての指定がございますが、高潮については対応できないということがございますので、それ以外の災害につきましては、大変広い空地を持っておりますので、そういったところでの活用が含まれるトイレということでございます。

以上でございます。

○村木委員 では、北で起こった災害から避難するのに、南側でということですか。

○野間都市計画課長 一概にというのがちょっと言えませんが、使えるときには使っていただけるというところで考えております。

以上でございます。

○村木委員 ありがとうございます。それと、今右田の防災広場と言ったんですけども、この防災広場のスケジュールを教えてくださいらと思うんですけど。

○澁谷道路課長 お答えします。

今年度予備設計をしております、その中で浸水対策等の検討もしてまいりました。来年度予算で詳細設計のほうに移って、それから残りの用地の取得等々ありまして、前から申しておりますが、令和7年度の盛土の完成を目指して整備していきたいと考えております。

○村木委員 ありがとうございます。

次の質問、参考資料の307ページです。すみません、一回聞いたかもしれないんですけど、もう一回教えていただきたいんですけども、駅周辺の施設管理事業という中で、新しいカーボンニュートラルに配慮したまちなかの活性化というところの、どれぐらいの範囲というか、広さと言うとおかしいけど、範囲でやられるのか教えてくださいらと思うんですけど。

○野間都市計画課長 お答えします。

防府駅を中心といたしまして、LEDに関するものと、防府駅の鉄道高架下に関するものと、周辺の公園ということで、3つございます。範囲といたしましては、防府市役所の前の通りがございますが、この南北の通りから防府商工高校までの通り、これが東西方向でして、南北方向につきましては、駅の北側の道路、それから南側の道路までの間と、防府駅の港口から出ました、イオンとか山銀があります、あの交差点から防府高校へ向かう道、こちらへの街路灯、防犯灯についてのLED化、これも含めてやっていきたいと考えております。

以上でございます。

○村木委員 ありがとうございます。それと、今の工事というか、事業のスケジュールが分かれば教えてくださいらと思うんですけど。

○野間都市計画課長 お答えします。

LED化に関するものにつきましては、令和5年度を予定しております。防府駅下の高架下につきましては、JRとの協議が必要となりますので、来年度は業務委託等を含めて調査設計というところでございます。それから、同じく高架下のルルサス防府とイオンの

駐車場までの間につきましては、来年度の事業と考えております。その他公園等につきましては、来年度で工事を行いたいと考えております。

以上でございます。

○村木委員 ありがとうございます。以上です。

○安村主査 ほかにございますか。

○和田委員 今、せっかく開いているので、予算参考資料の307ページで、概要の7ページを見たほうが分かりやすいのかな。自由通路なんですけど、今、イオンからアスパラートは別に普通に行ける状態で、これまずどのぐらいの費用がかかるんでしょうか。

○野間都市計画課長 お答えします。

予算といたしましては、水道、下水、それから排水等を含みまして、3,000万円を見込んでおります。

○和田委員 そこまでかけて需要はどのぐらいを見込んでいるんですか。この通路を今現在、行き来している人がたくさんいて、この自由通路を設定したことによってどういう効果を生むんでしょうか。

○野間都市計画課長 今年度は、4月にイオン東側の大きな駐車場が出来上がりまして、駅南北の一体的な活性化を目指している中で、こちらの通路を使ってルルサスやアスパラートのほうとの交流が進むようにというようなことで整備をしてみたいということでございます。

以上でございます。

○和田委員 ちょっとよく分かりませんが、ほかのところに行きます。

三哲文庫記念公園の緑化だとか、駅周辺の緑化だとか、最近すごくきれいにさせていただいています。まず、これに感謝申し上げます。今、三哲文庫記念公園なんかすごくきれいですよね。この緑化というけど、十分緑化されていると思うんですけど、これ以上どう緑化されるのか、ちょっと絵が見えないので、その辺の説明をよろしくお願いします。

○野間都市計画課長 駅周辺の事業につきましては、カーボンニュートラルというところを念頭に置く中での先導的な整備の仕方というところを目指しておりまして、十分緑化されているというのは御指摘のとおりかと思うのですが、さらに花壇とかそういったもので華やかさを出していきたいと考えております。

以上でございます。

○和田委員 分かりました。これによって職員の手が足りないだとか、ほかのところがおろそかになってしまうということはないようにお願いします。

このまま次行っていいですか。

○安村主査 どうぞ。

○和田委員 先ほど出ておりました概要の12ページ、避難所トイレ整備事業なんですが、議会の最初にもちょっと言ったんですが、向島運動公園の海側テニスコートで、今2つある既存のトイレはいずれも海側にあります。そうすると、対象が土砂災害のみという対象で、果たしてこのもう一つトイレを増やす必要があるのか。言ったように、私もソフトボールなんかで競技しておりますと、駐車場がいっぱい、花見の時期には花見の子だとか、テニスをやる人たちだとか、駐車場がいっぱいになるぐらい人が入りますが、今既存の2か所のトイレが並んでいるような、渋滞しているような状況は見たことがありません。そのような中で、もし災害発生時、土砂災害があるということはそれだけの大雨が降るといふ、高潮があるといふことは事前に警告なり何なり鳴るといふ中で、一体誰がここにいるのでしょうか。向島に逃げ込んでくる人がたくさんいるといふことでしょうか。お伺いします。

○野間都市計画課長 まず、このトイレにつきましては、施設利用者が使用するトイレということでの設置が前提にありまして、災害時にも使えるトイレということでございます。その中で、御指摘のとおり、高潮につきましては避難所として対応ができない場所でございますので、それ以外の災害で避難所として活用される際には、その災害の際のトイレということでの活用もできるようなトイレを設置したいと考えております。

以上でございます。

○和田委員 そうじゃなくて、そういった災害時に、一体ここにいる人たちは何人を想定されているんですか。

○野間都市計画課長 お答えします。

人数についての把握といいますか、そちらの分析はしておりませんが、災害の事象に応じて、こちらが大変広い場所でございますので、そういった災害、ここ以外のところで起きたものに対して、避難されるときには使うことができるトイレということで考えております。

以上でございます。

○和田委員 マンホールトイレなんかも推奨されていますよね、災害時には。そういったところで対応では駄目なんですか。例えば、簡易のトイレを設置するだとかそういったことで。今、どう考えたって、このテニスコートの一番近くにトイレがあるんです。むしろ、子どもたちが遊ぶような児童遊園みたいな所の駐車場からは非常にトイレが遠いんです。また、ソフトボールだとかサッカーするほうからも非常にトイレが遠いのに、わざわざこの一番近くにつける必要がなぜあるのかなというふうに思うんですけど、ちょっともう一

度考えてほしいのですが、これを認めてしまうと、全ての公園はこうなります。こっちの災害がある、高潮がある、では土砂も対応しないといけない、だから両方つけようという、これ実績をつくることになります。この辺の考え方を聞かせてください。

○野間都市計画課長 あくまでも公園利用者の利便性を考えての設置でございます。災害時も使えるトイレというようなことでの設置を考えておりまして、例えばこちらの向島運動公園の海側のテニスコートにつきましては、利用の状況を見ますと、基本的には大人の方が管理棟側のテニスコートをよく使われると。中学生、高校生になりますと海側を基本的に使われるというような状況がございます中で、こういった利用者の方、あるいは大会の場合には両方を一遍に使っていくというようなことがございます中で、特に女性の方が使われるときに管理棟の前で並ばないといけないというようなことでの要望等も含めまして、この場所が適地であろうということでの設置でございます。

以上でございます。

○和田委員 言ったように、私はそんなに並んでいるのを見たことがありません。これはもう水かけ論になるので、最後に聞かせていただきたいのですが、概要では複数のトイレの整備で1億670万円計上されておりますが、この向島運動公園というのは、入札があるから細かい数字はともかく、大体概算でどのぐらいかかるのでしょうか。

○野間都市計画課長 向島につきましては、下水道が整備されておられませんので、こちらのほうの中で全て処理していくということになります。その中で見込んでおりますのが6,100万円ということでございます。

以上でございます。

○和田委員 このまま次いっていいですか。

○安村主査 どうぞ。

○和田委員 それでは、概要の15ページで、予算参考資料では291ページになりますかね。防府北基地東道路整備事業ですが、提案理由に北基地周辺の安全確保と書かれてありますけど、これ今現在、どのように危険な状況にあるのでしょうか。

○澁谷道路課長 お答えします。

北基地周辺の道路の整備になりますので、航空機事故や航空機の部品が落下したりとか、そういった危険性を想定しております。

○和田委員 上空からの落下に対して道路を整備して、どういう道路整備になったら上空からの落下が防げるのでしょうか。

○澁谷道路課長 落下を防ぐわけではなくて、そこから避難するという道路です。

○和田委員 今の道路状況では避難できないということよろしいでしょうか。

○澁谷道路課長 今回の道路状況は、割と狭い道路になります。ここには都市計画決定されている道路がありますので、それを整備していくという予定になっております。

○和田委員 これは混雑緩和というふうに書かれておりますが、混雑というのは検証されたのでしょうか。私は、結構あそこを通るんですけど、そんなに混雑したこともないし、離合が難しかったこともそんなにはないんですけど、一部電柱が出ていたり、そういう場所はあるかな程度のことなんですけど、その辺の検証はされたのでしょうか。

○澁谷道路課長 都市計画の手続の中で、交通量の調査もしておりますし、朝夕の混雑は私も目にしております。

○安村主査 和田委員、よろしいですか。では、ほかに。

○山田委員 すみません、予算参考資料の296ページ、基地周辺障害対策事業、これ説明を聞いたとったら、既存の流れの悪いところも含めて今後整備していきたいという心強い説明を受けたのですが、それについて、前回と比べて国庫支出金もちょっと少ない中で、本当にできるのかなと思ったんですけど、その辺はどうですか。

○藤本土木都市建設部参事 今回の御質問にお答えします。

今年度の予算でいきますと1億3,200万円で、来年度が一応7,100万円ぐらいを予定しております。内容といたしましては、ポンプ場の基本設計と、今、自衛隊の東側の外構になるんですけど、そちらのほうの整備を予定しております。計画的に債務負担を令和16年度ぐらいまではずっとこの事業が今のところ予定として進んでいくような形になりますので、この事業自体は計画的に進めて、浸水対策を進めていこうと考えております。

○山田委員 この付近で、以前からずっとお願いしている案件もある中で、今回この事業の中でそういう話をされたので、ちょっと安心したのですが、地元からの、地域の要望の中で、やはり水の流れがどうしても悪くて、そこから悪臭が出て困られている方がこの付近に多いので、ぜひこの対策事業を行う中で、取りかかりを少しやっていただきたいなということをちょっと要望したいなと個人的には思っています。その地域の方もずっと要望しておられる中で、全然進まない、そのうち俺は死んでしまうみたいな話もされているので、ここはやっぱりそこに住んでおられる方も含めて、地域の要望を含めてしっかりやっていただきたいということだけ要望させていただきますので、よろしく願いいたします。すみません。

続きまして、300ページ。

港湾整備関連事業で、今回、防災広場に手洗い場を設置するという説明がありました。やっとな水回りが出来るんだなと私自身もちょっと感心したのですが、この水回りができる

のであれば、やはり、例えばあそこを整備されている、せっかく海に近いので、小さいお子さんが遊べるような、駅前にあるような噴水みたいな、ちょっとしたじゃぶじゃぶ池みたいな、夏は本当にもう異常なぐらい暑くなりますので、人が来るような、子どもたちが来るということは、そこにお母さんが来る、お母さんが来るといったら、当然お父さんが車を出して運転して来るような、本当に人が集まるような、せっかくならそういう施策もちょっと考えていただきたいと思うのですが、今後の計画の中で、そういうところがテーブルに上がらないのか教えていただければと思います。

○藤本土木都市建設部参事 ただいまの御質問にお答えします。

ここにあります今のみなとオアシスのエリアを、メバル公園というふうな愛称で来年度から一応整備していく予定であります。その中で、今の潮彩市場北側の緑地につきましても、山口県のほうでE緑地とD緑地という言い方をしていますが、そちらのほうも5年と6年度で整備していただくような形を取っております。今の御質問にありましたように、夏は暑いと、なかなか日陰のほうも少し少ないというところもありまして、この来年度の工事の中では、メバルの森といったところも整備して行って、そういった暑さ対策にも対応しようとしております。今の、暑いので、そういうじゃぶじゃぶ池みたいなものというところにつきましては、一応市民の声とか要望、地元の声とか、そういったものをしっかりと把握しながら今後検討していきたいと思っております。

以上です。

○山田委員 ありがとうございます。お金がかかる話なので。ただ、県内も含めてそういう公園はたくさんあります。しっかり、本当に子どもたちが、特に幼児が外に出て遊べるような環境にしていきたいということをや望させていただきますが、もう一つ、そこにはやっぱり野犬の問題があります。ここはちょっと所管が違うのであれなんですけど、しっかり市の中で生活安全課、そして保健所と連携を取りながら、しっかり横のつながりを持ってやっていただきたいということだけ要望させていただきます。

続きまして、303ページ、空家等対策事業でございます。今後、拡充という方向で進めていく中で、今、市に要望した空き家の状況がなかなか見えるようになっていないというのは、これも大きな問題だろうと思っております。実際、要望に対しての対応自体がどういふふうになっているのかというのは、僕はこれ、見えるようにしてもいいんじゃないかと思うのですが、やっぱりそこを特定するのはちょっと難しいとは思いますが、何か拡充の中でそのようなお考えがないのか、そして今後それがどうなっていくのか、税金を増やすというような話もありますけど、その辺を教えていただければと思います。

○野間都市計画課長 お答えします。

国のほうから出ているものの中で、空き家に関する情報が個人情報に該当するというところで、御指摘のとおりそのまま出すというのができませんので、集計するような形の中でどういった方法であれば出せるのかというのは、県とかそういったところとも確認しながらできる方法を探してみたいと思います。御指摘なのは、何件ぐらい相談があって、どういったような対応をしたのかというようなことが見えればということだと思いますので、そういったことができるかどうかというのを検討したいと思います。

以上でございます。

○山田委員 よろしくお願ひします。地域からそういう要望が上がっても、何も変わっていないじゃないかというのが現状なんです。だから、それがどうなっているのかというのは、やっぱりしっかり見えるようにしていただきたいのを要望しておきます。

320ページ、次いきます。

これはU J I ターンのところでも言わせていただいたのですが、下のところになります。市有住宅管理事業の中で、直接ここに関係する話ではないのですが、企業向けの住宅施策というのが現状ない、弱いというか、いろんなところで生産変動が起きたときに、例えば基幹社員さんであったり、派遣社員さんであったり、よその市にある企業さんとかからこっちに、防府市に移住してもらったりというところを企業は頻繁にやっています。生産変動が起こる中で、総合政策部とか産業振興部、そして土木都市建設部が一体となって、企業向けの住宅施策というのをしっかり考えていただきたいと思うのですが、またそういう働き方改革の中で、ちょっと防府市はこういうところが弱いなど個人的には思うのですが、すみません、ここに特化した話ではないのですが、その辺の考えを教えてくださいなと思います。

○北村建築課長 お答えいたします。

防府市で行っております住宅政策ですが、市営住宅等については、生活困窮者とか住宅に困っていらっしゃる方、これに対して住居の提供を行っているという形になります。

議員御指摘のとおり、企業様とかそういった方に対する住宅というのは、今現在、市とか県とかでは行っていません。昔になりますけど、雇用促進住宅など、そういった内容で企業向けの住宅は過去整備されてきたわけですが、今現在そういうものは聞いておりません。ただ、まず市として住宅提供に係るものとしては、やはり生活困窮者、住宅に一番困っている者に対して住居の提供なり、その支援をしていくというのが最大の目的ではないかと思っております。一般論にはなりますけど、企業向けの住宅については、企業様なり、市なり、県なり、国なり全体の政策を考える中で検討していくものかと思っております。そういったものを今後どうしていくかについては、今、明確な方針等、私どもは持ってお

りません。今後そういったものをどうしていくかについては、国等そういった動向等を見ながら、私どものほうでも検討なり研究をしていきたいと存じます。

以上でございます。

○山田委員 市営住宅とか、雇用促進とか、そういうところは、確かに生活困窮者とかDVの方とか、そういう方も含めてのストックというのはあると思うのですが、例えば市有住宅とか制限がかからないところも含めた、これは国の問題というよりも、今地方が困っている、地方で働く方はみんなそれこそ地方というか、その市町村なので、やっぱりそういうところで働く方の環境が変わっていく、特に僕がこういう言い方をしたらあまりよくないのですが、実は自動車業界は裾野が広いです。すごく関連企業さんもいる中で、これは防府市で言ったらマツダの問題ではなくて、関連企業さんの御負託がたくさんあります。外国人の方の住む所とか、そういうところも含めて、広島からこっち側に生産変動があるので、こっち側に移すとか、そういう問題がたくさん今、私のところにも上がってきています。ですから、ぜひここは防府市としてしっかり住宅施策を考えていただきたいということだけ要望させていただきますので、よろしく願いいたします。また相談させていただきます。

以上です。

○安村主査 よろしいですか。

○宇多村委員 私のほうから御質問させていただきます。まず、農業費につきましては、新規事業がとて多くて、頑張っていらっしゃるなというふうなことで評価させていただきたいと思います。まず、参考資料の212ページの農地集積加速化支援事業です。これは、認定農業者の方へ1反当たりの農地を拡大して借りていかれた方については、2万5,000円ほどお支払いするよと、そういうような支援制度だと思います。1点確認したいのは、認定農業者に対する支援ということで、その農地を提供される方がいらっしゃいますよね。そちらのほうには、特段支援というのはないわけですか。

○岡田産業振興部参事 今回の支援事業のほうは、あくまでも耕作者の方のほうの支援で、提供される方のほうには、今回のお金には含まれておりません。

○宇多村委員 分かりました。

次に、農業公社が農機の貸出しをするために、農機を買うための予算が上がっていますが、これは具体的に何を買おうというのがございますか。

○岡田産業振興部参事 機械は具体的に申しますと、無線で操縦できるラジコン草刈り機だとか、あとは自走で草刈りが幅広くできるスパイダーモア、あともう一つ考えておりますのは、農地を均平するレーザーレベラーというもので、水の水位の加減を数センチ単位

で均平することができるものと考えております。

以上です。

○宇多村委員 ありがとうございます。

続きまして、213ページの次の、これも新規事業です。農業研修応援事業ですか。知と技の拠点の研修者に対し経費を支給するというものですが、具体的には何を、参加費用とかそういうことですか。

○岡田産業振興部参事 実際に講習に係る、例えば保険も含まれて、全ての実費も含めて、農大さんのほうが授業者の方に求められる経費を全てということになっております。

以上です。

○宇多村委員 分かりました。

次に、225ページの畜産振興対策事業になります。飼料がすごく高くなって、畜産農家はとてもやっていられないという現状に今なっております。そういったために、堆肥の（ ）を作るための施設を造る場合については支給しますよということですが、市内には畜産農家と言われる方が何件ぐらいあるのでしょうか。

○岡田産業振興部参事 今、畜産農家の方は7件いらっしゃいます。

○宇多村委員 分かりました。

次に、林業費になりますが、244ページになります。

佐波川流域の絆・森と水と人づくり事業ということで、いわゆる啓発マップ、林業は大切ですよということで、森林の持つ多面的機能というか、水源涵養とか様々な機能を持っておりますが、そういった林業を大切にしようということで啓発マップを作られたり、イベント交流を新規にされようとしております。それに関連して、239ページになるのですが、以前から実施しております佐波川流域連携森林事業になりますけど、この2つは関連があるように思います。それと、現在、佐波川流域整備連携森林整備事業というのは、事業主体は実際どこがやっていらっしゃるのでしょうか。

○池田産業振興部参事 御質問にお答えいたします。

こちらのほうは、例えば佐波の里山サポートネットとか、そういった森林ボランティア団体、そちらの方が一応主体となってやられております。

以上でございます。

○宇多村委員 ありがとうございます。

最後になりますが、305ページの都市計画課管理経費の中の拡充事業で、地図情報をオンラインで公開をするためにというのがありますが、これはいつ頃をめどにオンラインで我々が情報を見ることができるようになるのでしょうか。お尋ねします。

○野間都市計画課長 令和5年度単年の事業として予定しておりまして、令和6年3月末までは見られるようにということで考えております。

以上でございます。

○宇多村委員 ありがとうございます。

○安村主査 よろしいですか。ほかにございませんか。

○森重委員 それでは、よろしく願います。

214ページ、下段の分なんですけど、新たに地域おこし協力隊を受けるということなんですけど、どのような計画でされるのでしょうか。

○岡田産業振興部参事 担い手確保育成事業は、2名の地域おこし協力隊の方を受け入れることと考えております。スケジュールとしては、年度が5年度になりまして募集をかけて、夏、秋に向けて2人の方を受け入れることとしております。主には、市内の農業公社さんのほうに派遣して、受託業務が受けられるようにだとか、あとは市内の法人さんや個人の農家さんの所にもお伺いして、農業経験を積んでいただくと。さらに、今、拠点の農業大学のほうでもいろいろな研修を受け入れていただけるよう、令和5、6、7年の3年度間で受け入れていただくように。卒業後には、ぜひ防府のほうで就農していただけるようなことを考えております。

以上です。

○森重委員 ありがとうございます。今のところ、予定は全くないという、予定されている人はいらっしやらないということですか。

○岡田産業振興部参事 今から募集をかけますので、今のところ予定はございません。

○森重委員 ありがとうございます。うちも担い手に困っていますので、よく指導していただいて、またお願いするかも分かりませんので、よろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、215ページ。隣です。予算が去年に比べて700万円以上増えているんですけど、予定者が増えたということでしょうか。

○岡田産業振興部参事 増えているのではなくて、減っておりますが、よろしいでしょうか。

○森重委員 本当だ、ごめん。(笑声) こっちでは少ないのに、何でかと言っている。すみません、これは少なくなったわけですね。ごめんなさい、反対を聞いてしまった。様子としてはどうなんですか。やっぱりどんどん少なくなるというよりも、現状維持なんでしょうね。

○岡田産業振興部参事 今回675万2,000円減っておりますが、このうちの主なものは、昨年度、新規で上げました農業次世代人材投資事業(経営開始型)の、昨年度の対

象者 6 名の方うち 2 名の方が交付対象期間を終了したことというのがまず 1 点で、それで 375 万円ほど減っております。また、国の支援事業でありまして、就農準備資金支援事業というものが直接本人のほうへ交付されることになりました。市のほうを経由しないということになりましたので、この予算が 300 万円ほど減額になりました。それが減額の主なものです。

○森重委員 ありがとうございます。人数が増えてもらうほうが、さっきと一緒になんですけど、大変皆さん助かると思いますので、その辺のところ御協力をよろしくお願いします。

続きまして、231 ページ。これは俗に言う単市改良でよろしいですか。

○池田産業振興部参事 そのとおりでございます。

○森重委員 例年 5,000 万円というふうに見ていますが、積み残しというのは今のところどうなんですか。

○池田産業振興部参事 積み残しのほうはございません。

以上でございます。

○森重委員 そしたら、もう例年、今年は満額もう使われたということですか。それとも、積み残しが無いということは残っているということですか。

○池田産業振興部参事 まだ精算のほうはしておりませんが、若干余るぐらいになっております。

以上でございます。

○森重委員 ありがとうございます。以前は、積み残しがたくさんあったような気がしたんですけど、余っていれば十分に足りていると思っています。

それと、248 ページ、ニューフィッシャー確保育成推進事業ということで、これは今年上がっていますよね、金額が。ということは、増えているということよろしいですか。それとも、年がたったので、人数的にはどうなんですか。

○岡田産業振興部参事 人数的なものを申しますと、新規就業者の方が、今年度 1 名いらっしゃった方が途中で研修中止ということになりまして、人数的には少なくなっておりますが、予算の中で増えておりますのは、今後自らが漁具を新たに買い上げてリースしたりとか、人数は少なくとも、そういう前向きの方が増えていらっしゃるということでお考えいただければと思います。

以上です。

○森重委員 分かりました。そしたら、機械とかそういうのふうなのを購入されるということで、予算が増えたということは、漁業のほうがうまくいっているというふうに思っているわけですね。

○岡田産業振興部参事 人数は少ないのですが、新たに5年度に2名の方が船とか漁具を買われるということになっております。

○森重委員 漁具を買われるということは、順調にいつているという意味ですね。

○岡田産業振興部参事 おっしゃるとおりです。

○森重委員 ありがとうございます。以上で終わります。

○安村主査 ほかにございませんか。

○和田委員 開かなくていいんですけど、さっきの避難所のトイレなんですけど、ちょっと数字だけ教えてください。先ほど、配管の整備が関わってくるんだと思うんですけど、それと上物は、大体でいいです、幾らぐらいなのか分かりますか。

○野間都市計画課長 向島運動公園のトイレにつきまして、排水のほうと浄水、電気というものをセットで大体3,500万円、それからトイレが3,500万円ということで、別々に出しますとこういった工事になるのですが、このたび6,100万円というふうに先ほど申しましたのは、これらを一体的に考えておりまして、太陽光発電によるもの、それからトイレ内で自己処理できるもの、こういったものでトイレを設置することによって、排水工事とか電気工事が無いものということで、一体として6,100万円を見込んでおります。

以上でございます。

○和田委員 すみません、それと、公衆用トイレに関わる維持管理費は、大体どのくらいかかるんですか。

○野間都市計画課長 すみません、ちょっと、トイレの規模によって変わりますので、何とも。すみません、今数字を持ち合わせておりませんが、今想定しておりますトイレにつきましては、年1回50万円ぐらいの入替えが必要になるものもありますし、全くメンテナンスフリーのような状態で、微生物等で処理できるものもございますので、この辺は長期的なものも含めて見ていきたいと考えております。申し訳ございません。

○和田委員 すみません、次にいきます。参考資料の261ページ、概要が31ページ、エコライフ住宅推進事業なんですけど、これの、ちょっとのどりが悪くて申し訳ない、大体どういったものが対象になってくるのかということと、どういった周知をしていくのかということだけ教えていただけますか。

○本間商工振興課長 エコライフ住宅推進事業なんですけれども、去年までは安全・安心の住宅リフォームということでやっていた事業を名前を変えてといいますか、対象もカーボンニュートラルに資する事業を中心ということで変えたものでございまして、対象は一般のリフォームではなくて、木材が使われたりとか、今年度やっている事業で言います

と、カーボンニュートラル枠というところでやっていたのですけれども、遮熱性の塗装であるとか、太陽光の導入であるとか、そういったところを対象にしたものでございます。周知につきましては、市広報等で行ってまいる予定です。

○和田委員 周知のほう、分かりやすい形でぜひお願いしたいと思います。

それと、この県産材を一定利用したリフォームの場合はさらに10%ということで、例えば依頼する人が業者に県産材を使ってくれというのはあまり想像がつかないとか、どこの業者が取り扱っているんだらうとか、その辺、確認というのはどうされるんですか。

○本間商工振興課長 今までのリフォームの事業の申込み状況から見ると、大体リフォーム業者さんがお話を持っていかれるパターンも多ございますので、そちらのほうから御提案いただいたりとか、要項等を見られて、お客様のほうから県産材を使ってほしいというようなところがあるのかなと考えております。確認につきましては、木材協会等と今、検討、協議を進めておるところでございます。

○和田委員 よろしくお願ひします。

では、次に行きます。参考資料の217ページで、概要だと29ページなんですが、地産地消推進事業ということで、これはぜひ防府市の農家さんを推奨するためにも進めてほしいのですが、学校なんか、地元の野菜だとかそういうのをずっと使っていたいて思うのですが、今後、例えば企業さんだとかそういったところにもぜひ投げかけてほしいのですが、そういったお考えだけ聞かせていただけますか。

○岡田産業振興部参事 ありがとうございます。地産地消は、学校給食だけというのではなくて、地産地消を進める上で、まずは市として一番最初に子どもたちにといい思いで、学校給食から取り始めるということで、今、議員御提案になりました企業さんだとか、あとほかの小・中学生ではないところの学校にも、例えば学食とかがありましたら、そういったところにもお声を掛けていきたいと考えております。

○安村主査 和田委員、よろしいですか。ほかにございませんか。

○牛見委員 すみません、予算参考資料215ページが主なんですけど、新規就農者支援事業、これは専業農家さんだけでしたか。

○岡田産業振興部参事 新規就農者の方と、あとは新規就農を目指す方の前の、なられる前に、就農される前の方の補助、助成も入っております。

○牛見委員 兼業というのはないのですか、やっぱり。ニューフィッシャーのことも含めてなんですけど。

○岡田産業振興部参事 まず、農業のほうなんですけど、兼業をいけませんと言っているわけではございません。農業だけでは収入が厳しいと。ただ、就農する場合には、ある一定

の時間、年間120日だとか日数が求められているのがございます。あとは、研修中にはほかのことをされるほど余裕は多分ないと思いますので、駄目とは言っておりませんが、ある程度の日数は求めています。

あと、水産のほうにつきましては、他業は禁止というふうになっております。

以上です。

○牛見委員 分かりました。若い方でも、今、農業とか漁業というものに興味を持たれている方は結構いらっしゃるんですけど、周りでも。やっぱり、まず収益化するまでに相当な不安を抱えていらっしゃるのでは伺った次第です。

最後、もう一つ。ちょっと、この中の関連とまた違うんですけど、この2年、3年にわたるコロナ禍の中で、いろいろ支援を、国からの予算も含めてありましたけど、市内の飲食事業者に対しての予算というのが今回あまり見受けられないかなと思っているんですけど、現状として、市としては、市内の飲食事業者さんの状況というのはどのように考えていらっしゃるのかというのをちょっと一言伺いたいと思うんですけど。

○本間商工振興課長 商工会議所等に聞き取っているという状況ではあるのですが、コロナ禍のときよりはもうちょっと持ち直しているのかなというような印象ではございます。支援策については、物価高等、全体的な影響がございますので、先般の補正予算で上げさせていただいた物価高の新しい取組に対する補助とか、そういったところで皆さんに広く使っていただけたらということで、計上したところでございます。

以上です。

○牛見委員 ありがとうございます。過去の防府市の予算も含めて支援などを行う際に、議員のほうからも提案をしたことがあるんですけど、やはり飲食に付随する関連業者、別の所管になりますけど、意味合いは違いますけど、深夜のタクシーの助成であったりとか、そういったことも予算には上がっていましたが、実際、タクシーだとか代行業者、そういったところへの支援を訴えてくる中で、なかなかそういったことが実現しなかったこともあって、現状、飲食店の夜の事業者だけで言うと、代行とか帰る手段がないから、もう飲みに出られないとか、食事できないということがかなり今、関連として出てきているというのを実情としては知っておいていただきたいということ。そういった夜の飲食事業者さんたちを活性化するという意味でも、どうやって行って帰るかというところまでの流れもしっかり踏まえた上での施策というものをぜひ、現状そんなに明るくはないよということと、そういったことも考えていただきたいということをお願いいたします。

以上です。

○安村主査 よろしいですか。ほかにございませんか。

ただいま石田委員外議員から発言したいとの申出がございましたけど、お諮りいたします。石田委員外議員への発言を許可することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安村主査 異議ないものと認めます。よって、石田委員外議員の発言を許可することに決定いたしました。

石田委員外議員、マイクを持ってお願いいたします。

○石田委員外議員 それでは、226ページ。先ほどもあった多面的機能支払交付金交付事業なんですけど、長寿命化のほうが、これは財務省からなんでしょうけど、1回の工事の金額が200万円以内に制限されたりとか、この多面は中山間ということで市内と一緒に、農水省の中で地域の共同体を守ったり、一番いい事業だと常日頃から思っているんですけど、そういう不当なというか、圧力により年々使いにくくなっているというのをごい残念に思っております。

その中で、さらに事業費の繰越しです、次の年に。その年度、お金の交付が秋頃になると思っていて、まとめてお金が入ってこないんですけど、保全会に。2回に分けて入ってきていると思うんですけど、どうしても長寿命化の工事をやろうとしたら年度を越してしまったりということがよくあるんです。

冬場は土木系の会社の方も忙しい時期なので、工事がなかなかできなくて、どうしても次の年になってしまったりとかということで、繰越しというのが今まではかなり柔軟に認められ—本当は、国は駄目だと言っているんでしょうけど、何とか認めてもらえていたんですけど、今年度からかなり、またそれがさらに厳しく言われているということで、現場の職員さんから。この、さらに厳しくなったのが、これが国の意向なのか、県の意向なのか、市の意向なのかということをお教えいただければと思います。

○岡田産業振興部参事 お答えします。

今、石田議員さんのほうから厳しくなったと言われる点で、私たちが把握している点で厳しくなったのは、年々、資源向上、長寿命化の割当率が、予算のときには当然、皆様から要望のあった100%で計上しておりますが、国のほうから割当率が減少している年がございまして、令和3年度が83%だったものが、4年度は77%というふうになっていきますので、そういった点では厳しくなっているのは、国からの割当率が低くなったという点で厳しくはなっております。

○石田委員外議員 ありがとうございます。

これは、農水省の予算枠にキャップを財務省がかぶせているから、結局、現場のお金が

そうやって足りないということになっていて、引いては日本経済全体の低迷にもそれがつながっているんだと思っておりますが、特に繰越しに対して新たな指針が出されたとか、そういうわけではないということによろしかったですね。

○岡田産業振興部参事 なかなか言いづらいんですが……（笑声）繰越しはもともと認めておりませんで、変わったというよりは、もともとなかったという回答になります。

○石田委員外議員 ありがとうございます。承知いたしました。

言いにくいことを聞いてすみませんでした。

あと、231ページの単独市費土地改良事業のことなんですけど、こちらも過去と比べて、最近かなり詳細な図面の提出とか、使いにくくなっているなという声が現場からは聞こえてきたりするんですけど、繰越しがなくなったというのもそういうのも一因としてはあるのかな。多面の方に流れたという、工事が、そういう要因もあるのかなとは思っていますけれども、その辺は、当局としてどう考えられておられますでしょうか。

○池田産業振興部参事 今、議員のおっしゃられるとおり、多面とかほ場整備が進んでいく中で、そういったことが関係しているのではないかなとは思っております。

図面については、うちのほうも今の補助金を出す関係上、そういった詳細な図面がやっぱり必要となりますので、そういったことから出していただくというふうなことはしていると思います。

○石田委員外議員 ありがとうございます。当局の考えも分かりますけど、現場の声も聞いていただきながら、しっかりと今後、考えていただければと思います。

また、先ほどほ場整備にも触れていただきましたけど、この5,000万円を使い切れないようであれば、山口市なんかやっているほ場整備の話合いが始まったときから継続的にそういう地域に予算をつけていくというような事業もあれば、さらにほ場整備の取組が進めやすくなると思いますので、その辺の御検討もよろしくお願いいたします。

以上です。ありがとうございます。

○安村主査 はい。よろしいですか。

ただいま、久保委員外議員から発言をしたいとの申出がございました。

お諮りいたします。久保委員外議員の発言を許可することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安村主査 異議ないものと認めます。よって、久保委員外議員の発言を許可することと決定いたしました。

○久保委員外委員 すみません。御理解ありがとうございます。すぐ終わりますので、参考資料303ページ、空家等対策事業です。

(5) 財産管理制度の活用を拡充していただいてありがたいと思っておるんですが、予算書等を見ても、これに対してどのぐらいの予算がついているか見えないので、それを教えていただければと思います。

○野間都市計画課長 お答えします。

相続財産の管理人の申立ての余納金として200万円、それから、申立ての手数料として2,000円というところでございます。

以上でございます。

○久保委員外議員 ありがとうございます。

それ、予算書のどの辺りに出るのでしょうか。

377ページが空家対策の、その75からですか、空家対策が出ているんですが……。

ごめんなさい、手数料ですか。200万2,000円があるから。

○野間都市計画課長 申し訳ございません。そのとおりです、手数料でございます。

○久保委員外議員 了解いたしました。ありがとうございます。

しっかり取り組んでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

以上です。

○安村主査 はい。よろしいですか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○安村主査 ないようですので、以上で質疑を終了いたします。

なお、議案第31号に対する討論、採決は、予算委員会で行いますので御了承を願います。

さて、産業建設委員会及び予算委員会産業建設分科会といたしましては、本日が今年度最後の会議となります。執行部の皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

ここで、定年により3月31日付で御退職される方がいらっしゃいますので、委員の皆さんにお知らせするとともに、長年にわたり市政の発展に尽くしてこられたことに対し、心から敬意と感謝の意を表したいと思います。

それでは、御紹介いたします。農業委員会事務局長の國本勝也さん、開発建築指導課長の鴻野嘉和さんでございます。

それでは、せっかくですので、お2人から御挨拶をいただきたいと思います。まず、國本農業委員会事務局長、お願いいたします。

○國本農業委員会事務局長 農業委員会事務局長の國本でございます。

本日は、このような場を設けていただき、誠にありがとうございます。

退職に当たり、一言御挨拶させていただきます。

私が市役所に入所いたしましたのは、昭和56年4月でございます。初めての配属先が課税課でございまして、その当時は1号館の1階、今は高齢福祉課、障害福祉課があるところに1か月ほどおりまして、その後5月に完成しました4号館、当時は南庁舎と言っておりましたが、その2階に引っ越ししました。そのことは今、覚えているんですが、それから42年がたちまして、その4号館も新庁舎が建つと、解体されるということで、本当に月日がたつのが早いものだなと実感しておったところでございます。

その後、課税課から保険年金課、文化福社会館、農業委員会、競輪局、会計課等々、いろいろな部署を回らせていただきました。いろいろな経験をさせていただきまして、ちょっとしたいろいろな事件もございました。

例えば平成22年、戸籍の係長のときには、186歳の方が生きていたということで、1日ニュースになります。これは死亡届が出ない、戸籍が残っていたということで1日テレビと新聞の取材を受けて、「係長なのに何で私が」と思いながら、課長が全然出てくれませんでした。それは特に記憶に残っております。（笑声）

最近になりますと、令和2年、生涯学習課長のときには、コロナウイルス感染症の拡大で成人式を初めて順延したということ等いろいろございました。

市役所で最後2年間は、以前と同じような形で教育委員会の文化福社会館からまた農業委員会に異動になりました。最後2年は以前の経験がありまして、何とか無事にこのまま退職を迎えることができそうでございます。

産業建設委員会の委員の皆様には、2年間ではございましたが、大変お世話になり、本当に、誠にありがとうございました。

退職後も、一応、市のほうに再任用の願いは出しております。何事もなければ、また市のどこかの職場で働いていると思いますので、どうぞ引き続きよろしく願いいたします。

以上、簡単ではございますが、退職の挨拶とさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。（拍手）

○安村主査 ありがとうございました。

続いて、鴻野開発建築指導課課長、お願いいたします。

○鴻野開発建築指導課長 開発建築指導課、鴻野嘉和です。

今、御挨拶のありました國本課長とは同期入所でありまして、42年間、建築職員として勤めさせていただきました。

今、ありましたように、私も入ってすぐ、今、4号館ができておりまして、4号館です

っと過ごしていた状況でございます。

途中、教育委員会、それとちょっと異色ではありましたが、昭和62年に課税課の家屋係のほうの評価、建物の評価ということで2年間勤めさせてもらっております。

皆様には、また、たくさん御指導をいただきまして、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

私は、國本課長と違いまして、家庭の事情でちょっと再任用は受けずに退職をさせていただくようになりますが、これからも庁舎をはじめ、防府市が目覚ましく変貌していくという状況でございます。外部から見守っていきたいと考えております。

皆様の今後の御活躍と防府市の発展を祈念しております。大変ありがとうございました。
(拍手)

○安村主査 ありがとうございます。退職されるお二方におかれましては、長い間、本当にお疲れ様でございました。

今後とも、市政の良き理解者として御協力をいただくとともに、御健勝、御多幸を心から祈念いたします。本当にお疲れさまでした。

それでは、執行部の皆様は御退席いただいて結構でございます。お疲れさまでした。

〔執行部 退席〕

○安村主査 委員の皆様には引き続き、産業建設分科会として、予算委員会全体会に報告する案件について御協議いただきたいと思います。

予算委員会全体会で集中審議するもの、所管事項で修正すべきもの、附帯決議すべきもの、その他重要と思われる案件がございましたら、御意見をお願いいたします。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○安村主査 ただいま、御協議いただいたように決したいと思います。

以上もちまして、当委員会に付託となりました案件についての審査を終了し、産業建設委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後0時04分 閉会

防府市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和5年3月16日

防府市議会産業建設分科会主査 安村 政治